

自	分	色	
は	っ	け	ん

vol.2

区内で活躍する男女共同参画人



NPO法人
ネットワークBear 代表

ふるさわさとみ
古澤 里美 さん

profile

幼稚園教諭を経て、結婚・子育てと同時に保育ボランティア活動に従事。
2003年 ネットワークBearを立ち上げ、共に育ち合う保育にこだわりを持ち、活動を続けている。
2008年 ネットワークBearが法人格を取得。

地域で活躍する子育ての味方

保育ボランティア養成講座に参加

大田区の女性支援は全国でも早く、国民に学習権が憲法で保障されていることから、'88年頃には子育て中の女性も学習できるよう、区内の公共施設での保育付き講座が増えつきました。その保育を担う人材を養成するため、当時の婦人会館、今の「エセナおおた」で「保育ボランティア養成講座」が行われていました。

一方で、当時は子どもが生まれるから女性は仕事を辞めるのが当たり前だった時代。それまで幼稚園で働いていたわたしも仕事を続けたいと思いつつも結婚を機に退職して、その頃は完全に子育てだけでした。社会から取り残されたようなモヤモヤした気持ちを抱えていたそんな時、その講座に参加して、初めて「女性問題」——今は「ジェンダー」といいますが——を知ったのです。そこで「固定的な性別役割分業があつて男女平等は難しく、女性が抱えているのは単に個人の問題ではない」と聞き、「自分が今まで感じてきた問題の根がそこにあつたのか」と驚いてしまつて……。それから女性問題などを学習するようになったのです。

仲間と2人でBearを立ち上げる

ネットワークBear(以下「ベア」)

を立ち上げたのは、'03年です。最初は保育ボランティア10人位で「保育サポートおおた」という団体を立ち上げ、区主催の講座参加者のための保育やその講座から誕生した自主グループのサポートなどを行っていましたが、保育に対する考え方がちがってきたこともあり、私ともう1人の女性の2人で立ち上げた団体がベアです。

当初は、起業しようと思ひ、学びましたが、それでも不安でいっぱいでした。その後、いい仲間恵まれ、区の職員の方も応援してくださつて、'08年にNPOの法人格を取得しました。

ベアで「保育の力」をつけて児童館や保育園等に再チャレンジし、活躍している人も多くいます。現在、メンバーは30人。年齢層も30〜70代と広く、頼もしい人たちがばかりです。そしてベアの子どもも大人も仲間の中で育ち合う」を大切に、子育てを支援する姿勢は口コミで広がり、今では、都内の児童相談所他、他区でも活動しています。

夢の実現に向かつて

私は、一昨年まで「エセナおおた」の職員だったので退職し、その後、夢の実現のため、ベアの活動と、別に高齢者施設に関わらせてもらっています。その夢というのは、「赤ちゃんから高齢者までがもっと行き交い、

刺激し合つて生きていく社会をつくること——。」

自分自身、大家族で育ち、そこには大変なこともありましたが、楽しいこと、刺激のあることもたくさんありました。

幼稚園教諭、英才教育研究所、企業の幼児教育の講師、また現在の子育て講座講師をしながら出会つたママ、パパ、子どもたちの家族(おばあちゃん、おじいちゃん等)と付き合う中で、多くの家族の悩みを聞くようになりました。

そうした体験から、人が自分らしい人生を歩むには、「子どもの時から高齢者とふれ合うことが必要だ」と実感したのです。たとえば認知症の高齢者でも、赤ちゃんとふれ合うと、本当に明るい表情になるんです！

核家族が増えている都会では実現するのは難しいと思いますが、どうしたら高齢者と小さい子どもをつなげられるのか、目下勉強中です。



▲いつも保育を行っている、エセナおおたの子ども室にて

